



2012年(平成24年) 6月24日発行

主な内容

- 2……特定健診・特定健診プラス・後期高齢者健診、ひまわり
- 3……かがやき催物、リバーナホール催物、後期高齢者医療制度
- 4……二次救急実施病院、国津の杜の行事

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp ㊚http://www.city.nabari.lg.jp

7月の納税(納期限:7月31日迄)

表1 6歳未満児のいる夫の家事・育児関連時間(1日あたり)

※出典:内閣府「男女共同参画白書」(平成23年度)

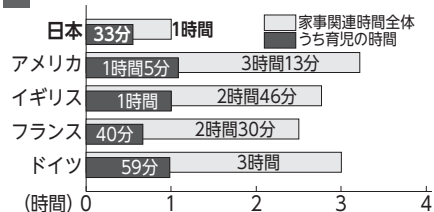
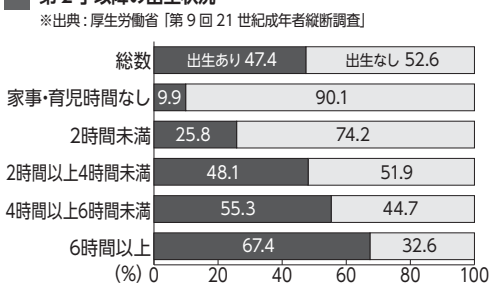


表2 夫の休日の家事・育児時間別にみた過去8年間の第2子以降の出生状況

※出典:厚生労働省「第9回21世紀成年者縦断調査」



子ども支援センターかがやき利用者に聞きました。

「夫にしてほしいことは?」

- ▼かがやきのイベントと一緒に参加してほしい
- ▼休みの日は、子どもと一緒に遊んでほしい
- ▼食事の片付けだけでもしてほしい ▼家事を手伝ってほしい
- ▼寝かしつけをしてほしい ▼話を聞いてほしい

男性の皆さん、できることから始めてみてはいかがでしょうか?

固定資産税(第2期)、国民健康保険税(第1期) 63・7439

6月23日土~29日金 男女共同参画週間

イクメンより…イクメン

イクメンとは、育児を楽しみ、自分自身も成長する男性(メンズ)のことです。仕事はもちろん、家庭や子育ての時間も大切にしたいと考える男性が増えています。今号では、2児の父親で育児を楽しむ、田中浩虫さんにお話を伺いました。

個人権・男女共同参画推進室 ☎63・7559

育児の時間は1日約30分

平成23年の出生数が過去最低を記録するなど少子高齢化が進む中、出生率の回復や労働力人口の確保が大きな課題となつていきます。

この課題克服に向けて、子育てを積極的に楽しむ男性「イクメン」の存在が注目されています。日本の男性の育児にかかわる時間は1日平均約30分。これは、

他の先進国と比べても最低の水準です。男性の子育てにかかわる時間が短いことが、結果的に女性の子育ての負担を重くしている一因ともいえます(表1)。

一方で、夫の家事・育児時間が長いほど第2子以降が生まれる割合が高いという統計もあり、イクメンが増えることで出生率の回復や女性の就業率の向上などが期待されています(表2)。

父親の育児休業

現在約3割の男性が「育児休業を取得したい」と希望しています。しかし、実際の育児休業の取得率は約2.6%にとどまっています。

原因としては、休業中の収入の問題や、「職場に迷惑をかけるのではないか」という気持ち、「家事・育児は女性がするもの」という固定的な意識が残っていることなどが考えられます。

「男は仕事、女は家庭」といった時代から「子育てする父親がカッコいい」。そんな時代になっていきます。「イクメン」が増加することで、女性が集中しがちな子育ての負担が軽くなり、男性も女性も仕事と家庭を両立できるのではないでしょうか。



10年後、娘たちと関わる時間が少なくなる “今しかない”と頑張っています

田中 浩虫さん(桔梗が丘西)

田中さんは、現在、育児休業中の明美さん、咲優ちゃん(3歳7ヵ月)、音羽ちゃん(1歳6ヵ月)の4人で生活しています。

「平日は、できるだけ早く帰宅するようにしています」と話す田中さんは、家に帰り夕ご飯を食べると、子どものどちらか一方とお風呂に入り、絵本の読み聞かせをした後、寝かしつけをしています。

休日は子どもと一緒に3人で買い物などに出かけることがあるという田中さんは、この日も2人の子どもと一緒に、子ども支援センターかがやきに遊びにきてい

ました。この間に明美さんは美容室へ行くなど自分の用事をこなしました。

「平日は、妻にまかせっきりにしていません。土曜日や日曜日は、息抜きしたいと思うのはず。自由な時間を作ってあげたい」と田中さん。

大変ではないですか?と質問すると、「ぼくはたった数時間、妻は24時間子育てしているので、大変とは言ってもらえないですね。娘たちは、10年後には父親と関わる時間が少なくなる。数年の間のことなので“今しかない”という感じで頑張っています」と笑顔で話してくれました。